１１年度通期決算
説明資料

２０１２年５月９日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について：
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

本日のご説明内容

1．11年度　通期決算について
- 1-1）グループ概況
- 1-2）セグメント情報
- 1-3）営業利益の変動要因
- 1-4）P/Lの概要
- 1-5）B/Sの概要
- 1-6）キャッシュフローの概要

2．12年度　計画について
- 2-1）12年度の方針
- 2-2）セグメント情報
- 2-3）営業利益の変動要因
- 2-4）P/Lの計画
- 2-5）フリーキャッシュフローの計画
- 2-6）設備投資・研究開発投資の計画

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

グループ概況

通期業績は、プリンタのタイ洪水被害影響を跳ね返して大幅増益

【対前年同期比較】

- **売上高は、46億円の減収**（為替影響▲53億円、中国子会社決算期間統一影響＋51億円）
  - ・情報通信セグメントは、メカトロシステムを主体に増収
  - ・プリンタセグメントは、為替影響に加えタイ洪水被害影響などにより減収
  - ・EMSセグメントおよびその他の部品関連事業が増収

EMS：Electronics Manufacturing Service

- **営業利益は、64億円の増益**（為替影響＋2億円、中国子会社決算期間統一影響▲3億円）
  - ・変動原価の低減や固定費改善効果などにより大幅良化

（単位：億円）	11年度		前年同期		前回（2/3）公表	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	2,672	187	2,607	147	2,665	190
プリンタ	1,120	11	1,250	2	1,125	5
EMS	313	15	310	13	315	15
その他	176	25	159	15	175	25
消去・本社費	—	△64	—	△67	—	△65
合計	4,281	174	4,327	110	4,280	170

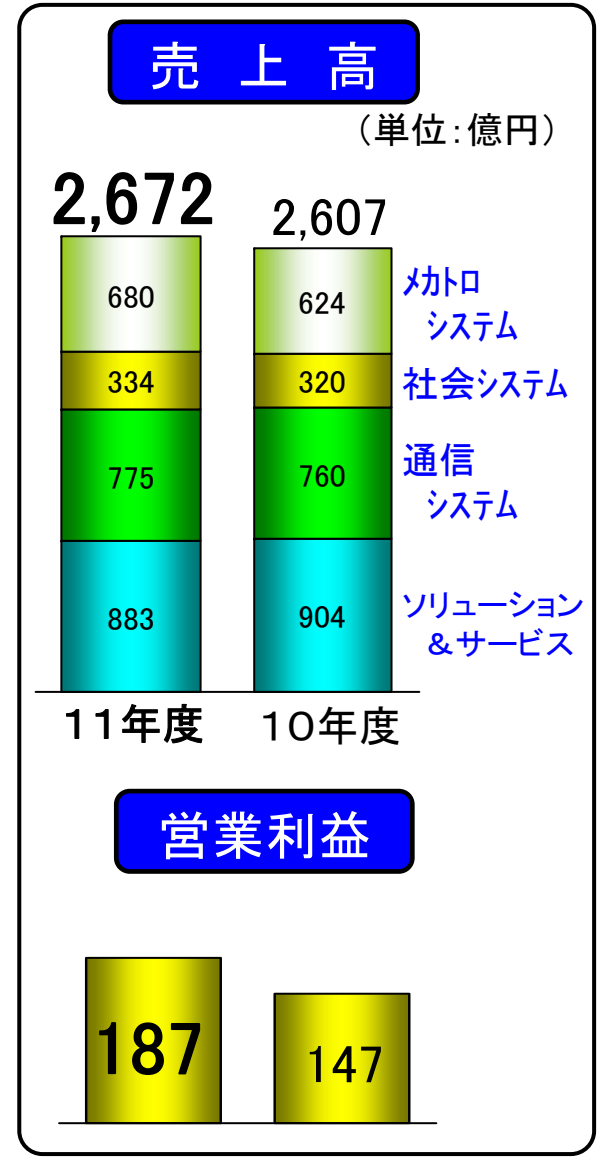
© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報 【情報通信】

- ①中国子会社の決算期間統一による影響
  - ➢売上高42億円増収、営業利益2億円減益
- ②為替による影響
  - ➢売上高11億円減収、営業利益1億円増益

- 売上高：上記①、②を除き34億円増収
  - ➢ソリューション＆サービス：
    ATM運用・監視サービスは堅調
    法人市場の投資計画繰り延べなどで全体は減収
  - ➢通信システム：
    光アクセス需要が増加。ホームGWも堅調
  - ➢社会システム：
    一部官公庁向けの大型リプレースが増加
  - ➢メカトロシステム：
    国内向けATMは堅調。中国向けATMが引き続き好調
- 営業利益：上記①、②を除き41億円増益

物量増に伴う限界利益の増加に加え、機種構成差や
変動原価の低減などにより増益



ATM：Automated Teller Machine　GW：Gateway

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

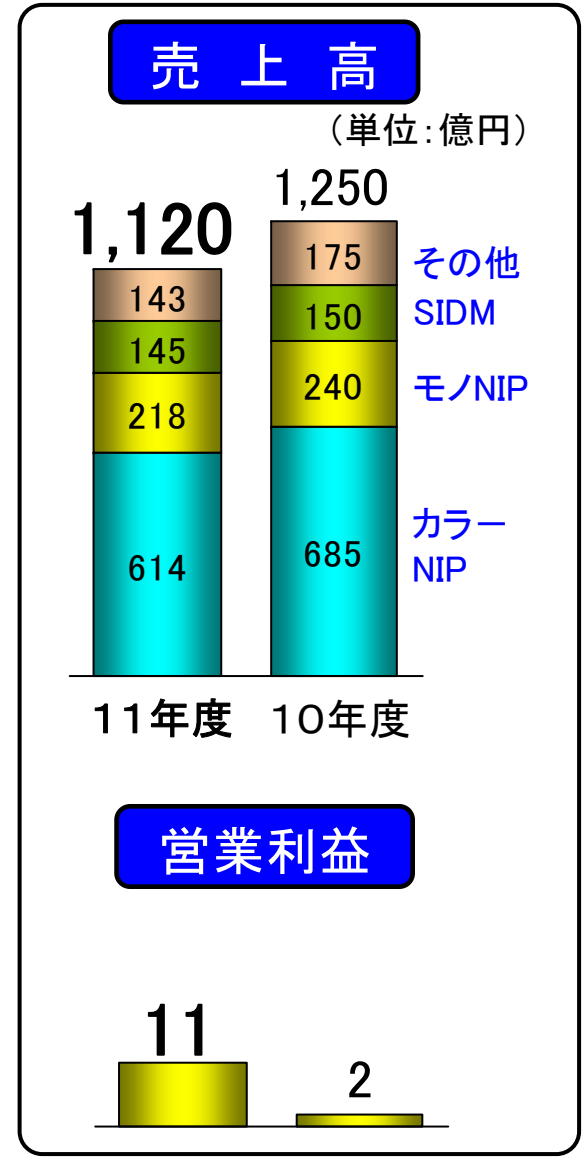
セグメント情報 【プリンタ】

- ①中国子会社の決算期間統一による影響
  - ➢売上高9億円増収、営業利益2億円減益
- ②為替による影響
  - ➢売上高42億円減収、営業利益1億円増益

- 売上高：上記①、②除き97億円減収
  - ➢カラーNIPおよびモノNIP：
    タイ洪水被害の影響などにより全体では減収。
    主力のA4カラーおよびモノクロ新商品販売は増加
  - ➢SIDM、他：
    SIDM販売台数は、タイ洪水被害の影響などにより減少

- 営業利益：上記①、②除き10億円増益

  変動原価の低減に加え、タイ洪水影響で販売費用が減少したことなどにより、価格下落や物量減に伴う限界利益の減少などを吸収



NIP：Non-Impact Printer　SIDM：Serial Impact Dot Matrix

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

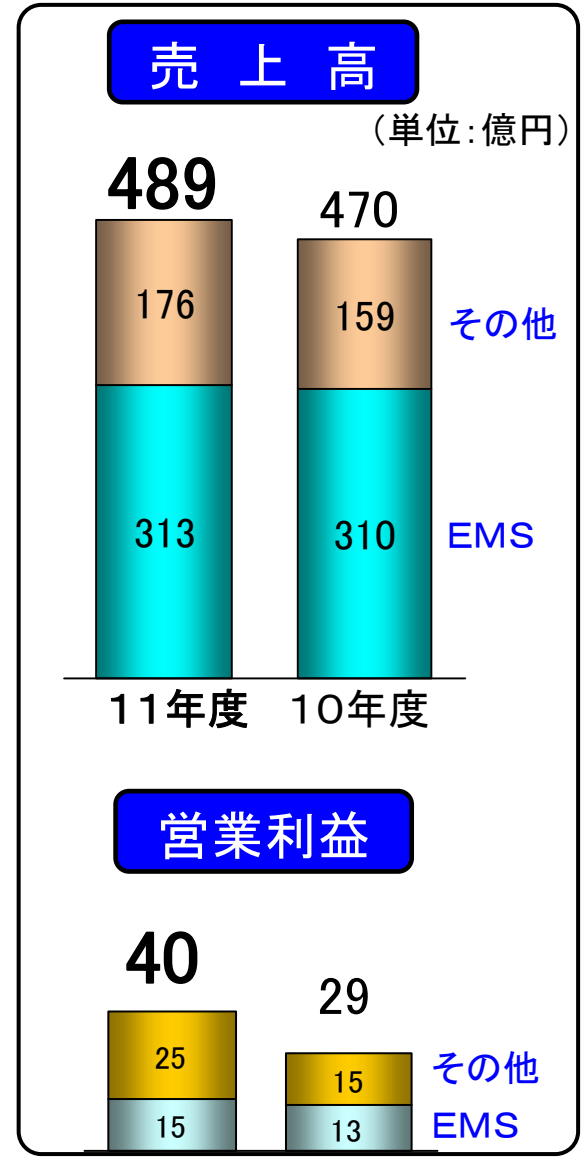
セグメント情報【EMS】・【その他】

売上高

- EMS：
  ・ハイエンド型EMSという独自のビジネスモデルで順調に事業を拡大
  ・計測機器市場、産業機器市場などが堅調
- その他：
  アミューズメント市場の需要増などにより部品関連事業が増収

営業利益

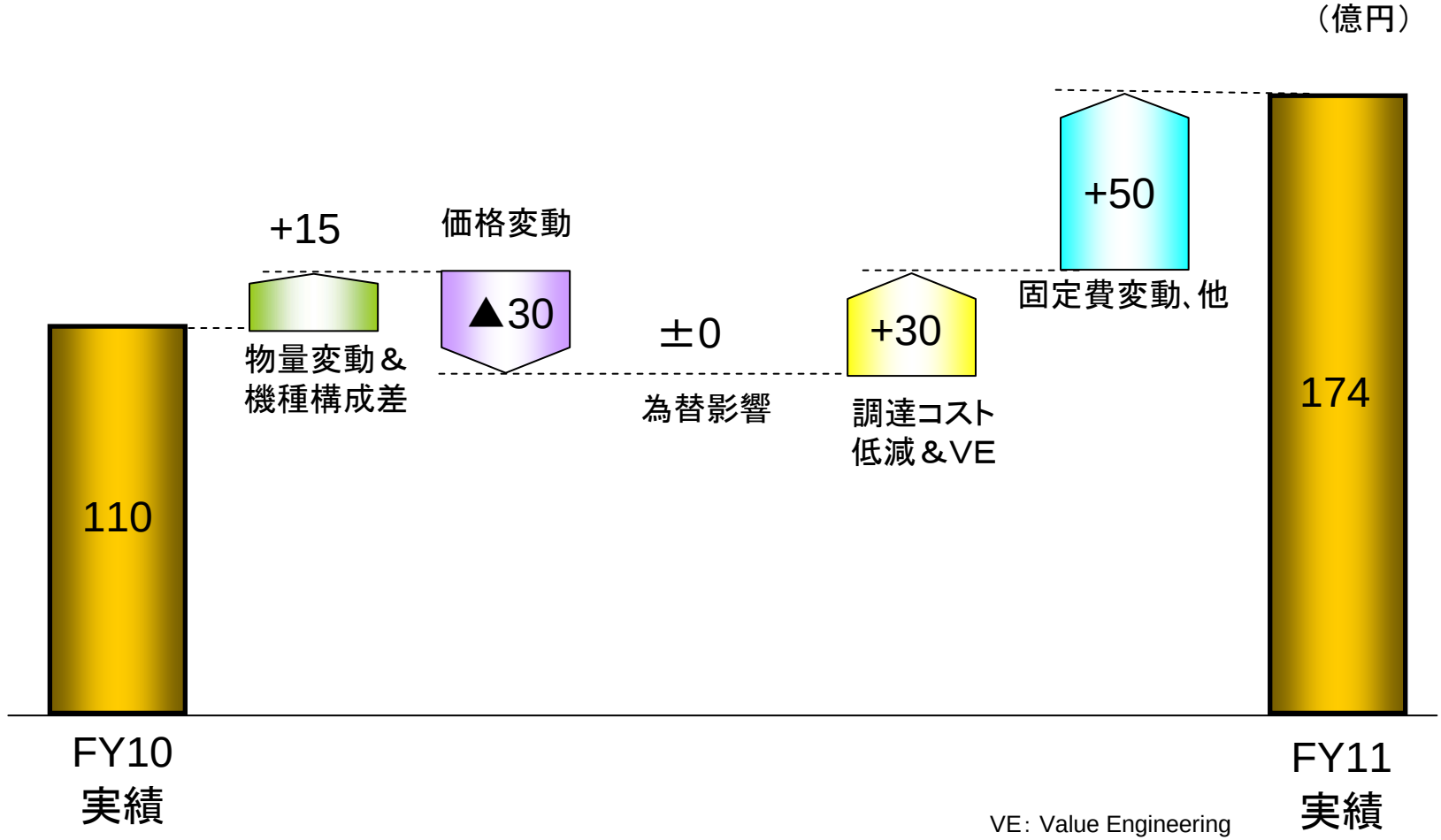
物量増に伴う限界利益の増加などにより、
11億円増益



© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

営業利益の変動要因

■情報通信セグメントを中心とした物量増による限界利益の増加に加え、変動原価の低減や固定費削減効果などにより、前年比64億円増益



VE：Value Engineering

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

P／Lの概要

（単位：億円）	11年度	10年度
売上高	4,281	4,327
売上原価	3,170	3,186
販管費	937	1,030
営業利益	174	110
営業外収支	△29	△51
経常利益	146	59
特別損益	△25	△312
税引前利益	120	△253
当期純利益	80	△270

【対前年比較】

- 販管費は、固定費削減効果などにより減少
- 営業外収支は、支払い利息の減少や為替差損の減少などにより良化
- 特別損益は、前年の経営構造改革費用の発生などがなくなり、大きく改善
  - ・退職給付制度改定損（△224→0）
  - ・特別退職金（△118→△4）
  - ・投資有価証券評価損（△25→△2）
  - ・タイ洪水災害のネット損失（0→△13）
- 当期純利益は、350億円の大幅改善

【参考：平均為替レート】

	11年度	10年度
USD	79.1	85.7
EUR	109.0	113.1

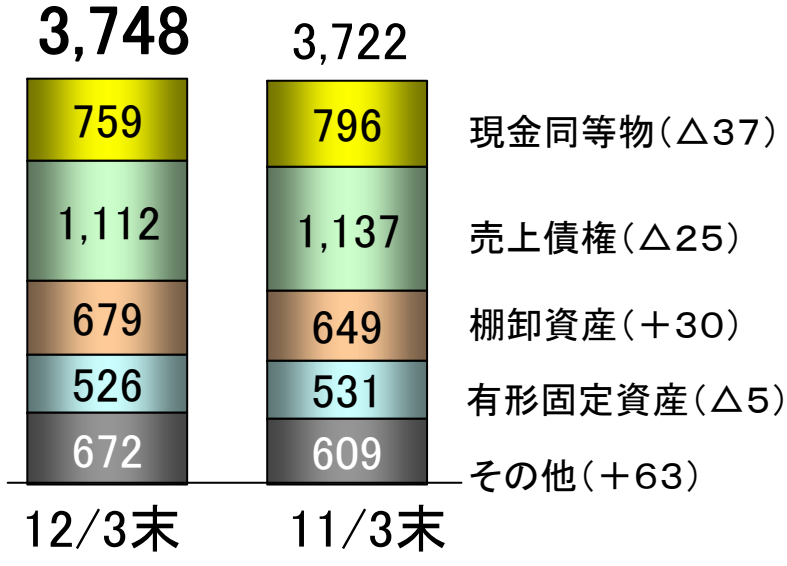
© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

B／Sの概要

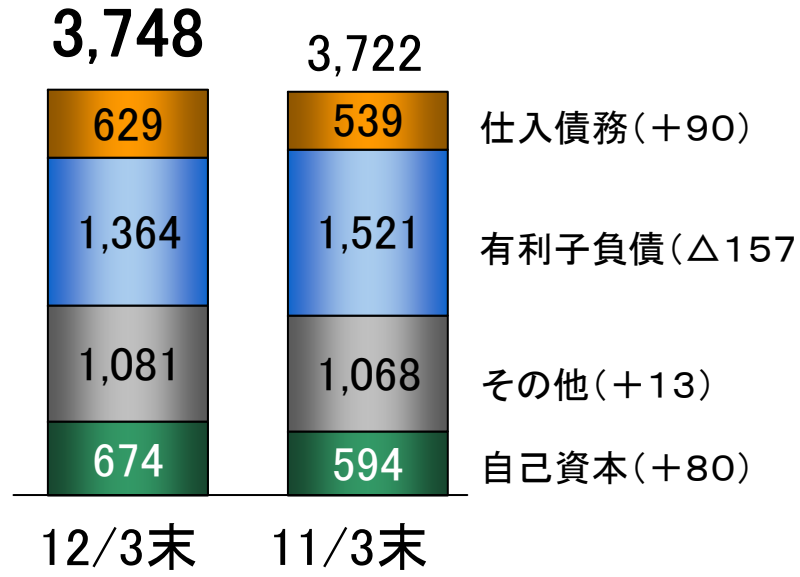
- 当期純利益の積み上げにより自己資本比率は18．0%に改善
- NET　D／Eレシオは0．9倍

（単位：億円）

【資産の部】



【負債・純資産の部】



（　）内は増減

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

キャッシュフローの概要

- FCFは、当期純利益の増加および運転資金の改善により172億円増加

（単位：億円）	11年度	10年度
Ⅰ 営業キャッシュフロー	238	16
税金等調整前当期純利益	120	△253
減価償却費	127	141
運転資金の増減	59	△55
その他	△68	183
Ⅱ 投資キャッシュフロー	△94	△44
設備投資支払額	△88	△65
その他投資活動	△6	21
フリー・キャッシュフロー（Ⅰ＋Ⅱ）	144	△28
Ⅲ 財務キャッシュフロー	△176	112
キャッシュフロー計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）	△32	84

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

本日のご説明内容

１．１１年度　通期決算について
- 1-1）グループ概況
- 1-2）セグメント情報
- 1-3）営業利益の変動要因
- 1-4）P/Lの概要
- 1-5）B/Sの概要
- 1-6）キャッシュフローの概要

２．１２年度　計画について
- 2-1）１２年度の方針
- 2-2）セグメント情報
- 2-3）営業利益の変動要因
- 2-4）P/Lの計画
- 2-5）フリーキャッシュフローの計画
- 2-6）設備投資・研究開発投資の計画

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

12年度の方針

＜中期経営計画の中間年度＞
ジャンプに向けたステップの年

「成長に向けた積極投資を行う」

＜12年度経営目標＞

売上高：4，400億円、営業利益：185億円
当期純利益：110億円

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

12年度の方針

- **安定収益事業の更なる強化**
  - 金融、通信システムのリプレース確保
  - 保守・サービス事業の収益拡大
  - 消防デジタル無線や防災無線などの復興需要獲得
- **成長に向けた取り組みの加速**
  - 中国ATM事業の継続拡大と新市場開拓
  - クラウドサービス、LCMサービスの拡販
  - プリンタ事業の積極投資による販売拡大
  - EMS事業の新領域開拓

LCM: Life Cycle Management

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報（サマリ）

【通期計画の対前年比較】

- 売上高は、注力事業を中心に119億円増収の4，400億円
- 営業利益は、11億円増益の185億円

＜為替レート＞

	12年度	11年度
USD	76.0	79.1
Euro	100.0	109.0

（単位：億円）		12年度計画		11年度	
		通期	2Q累計	通期	2Q累計
情報通信	売上高	2,720	1,090	2,672	1,089
	営業利益	195	40	187	44
プリンタ	売上高	1,160	550	1,120	554
	営業利益	10	△25	11	△18
EMS	売上高	360	160	313	155
	営業利益	20	5	15	5
その他	売上高	160	80	176	87
	営業利益	25	10	25	14
消去・本社費	営業利益	△65	△30	△64	△31
合計	売上高	4,400	1,880	4,281	1,884
	営業利益	185	0	174	15

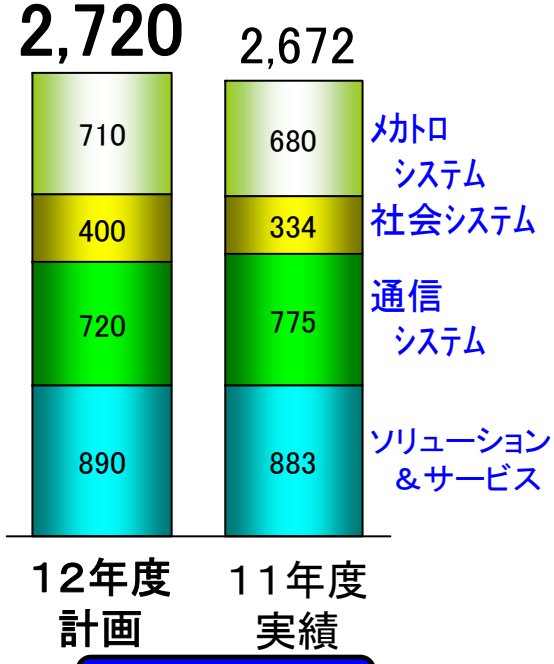
© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報

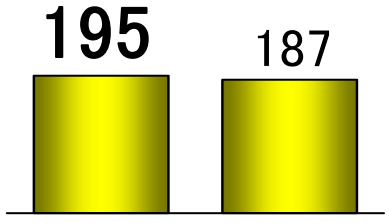
【情報通信】

売上高

（単位：億円）



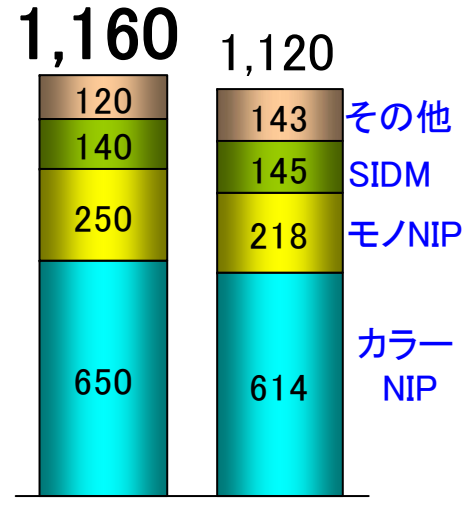
営業利益



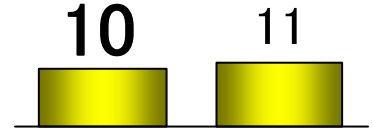
【プリンタ】

売上高

（単位：億円）



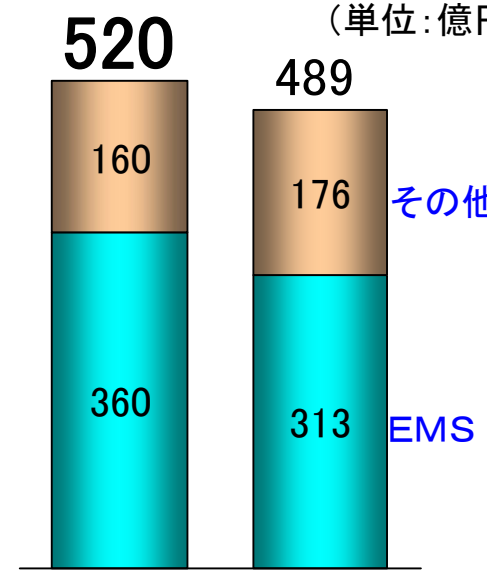
営業利益



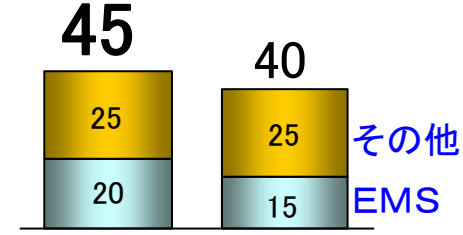
【EMS、その他】

売上高

（単位：億円）



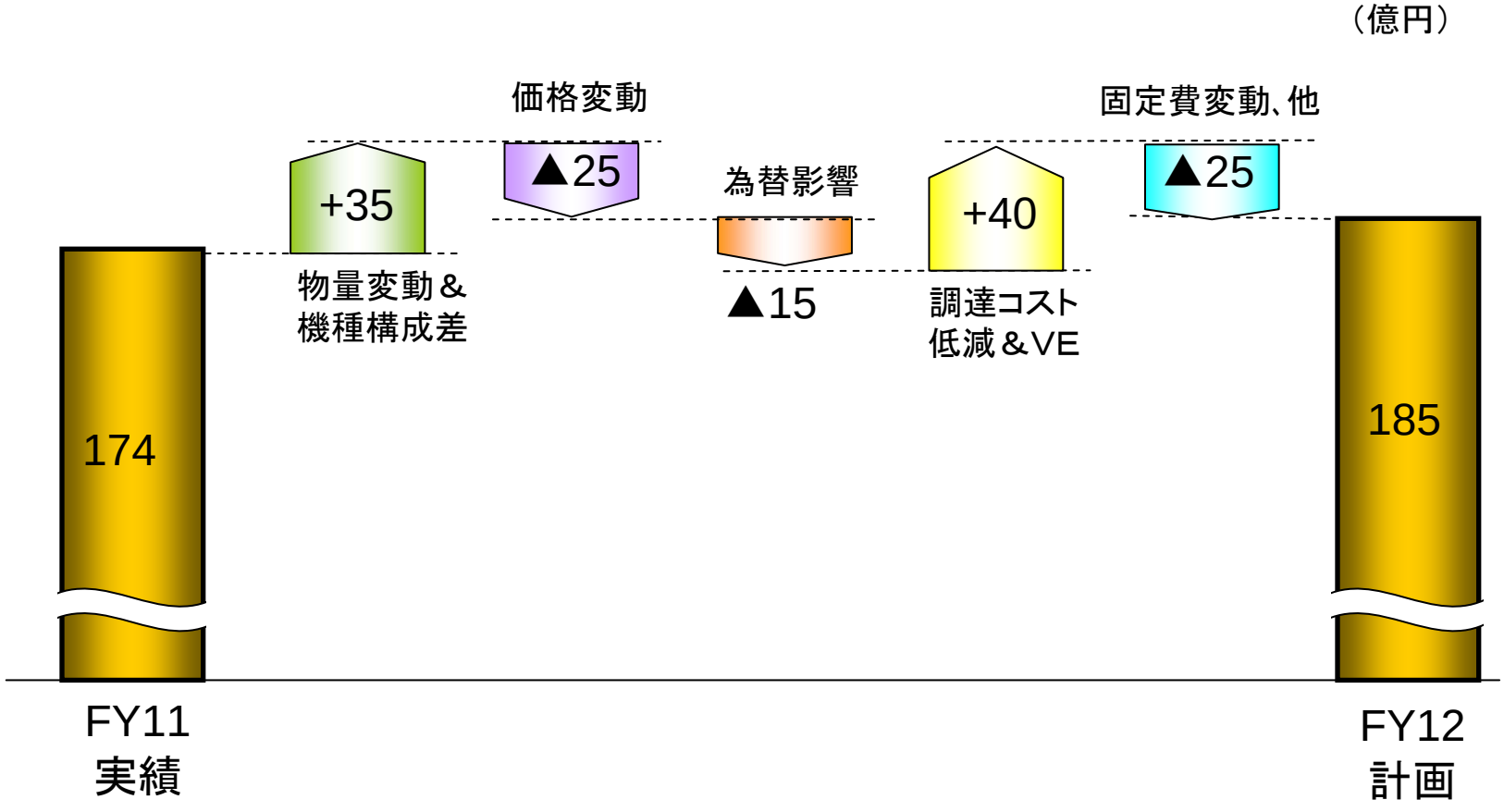
営業利益



© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

営業利益の変動要因

■プリンタ販売投資などの成長に向けた積極投資費用増を、物量増および変動原価の低減などにより吸収し、前年比11億円増益を計画



© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

P／Lの計画

- 当期純利益は、営業利益の増益に加え、前年度のタイ洪水被害に伴う特別損失がなくなることから、30億円増益の110億円

（単位：億円）	12年度計画		11年度実績	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計
売上高	4,400	1,880	4,281	1,884
営業利益	185	0	174	15
経常利益	155	△15	146	△9
当期純利益	110	△20	80	△50

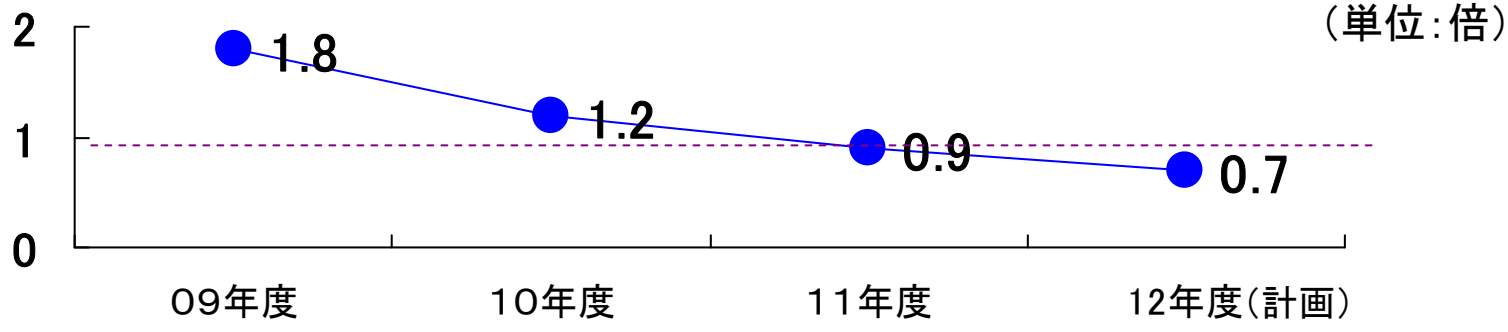
© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

フリー・キャッシュ・フローの計画

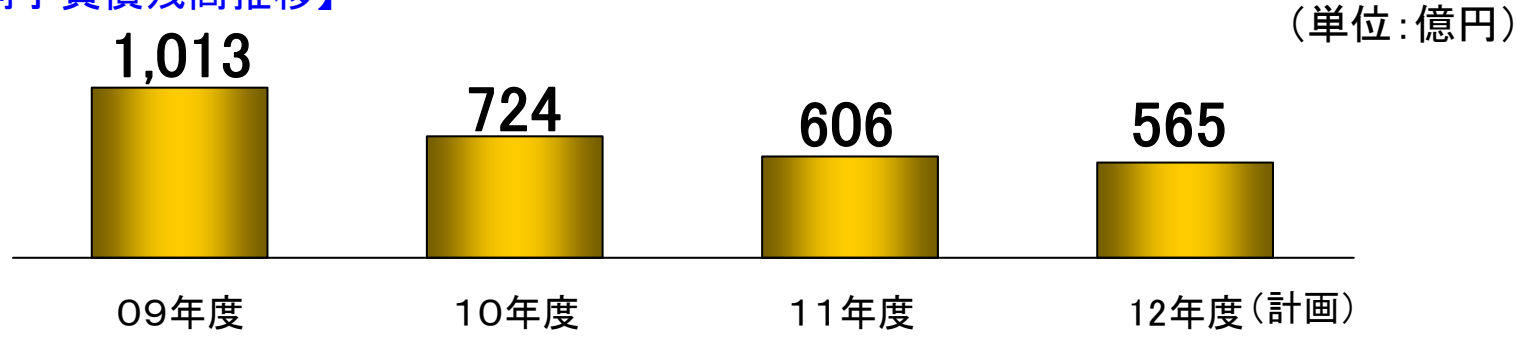
- キャッシュフローの創出を重視。前期に続き財務構造は改善

（単位：億円）	12年度 計画	11年度 実績
Ⅰ 営業キャッシュ・フロー	230	238
Ⅱ 投資キャッシュ・フロー	△170	△94
フリー・キャッシュ・フロー（Ⅰ＋Ⅱ）	60	144

【NET D/Eレシオ推移】



【NET有利子負債残高推移】



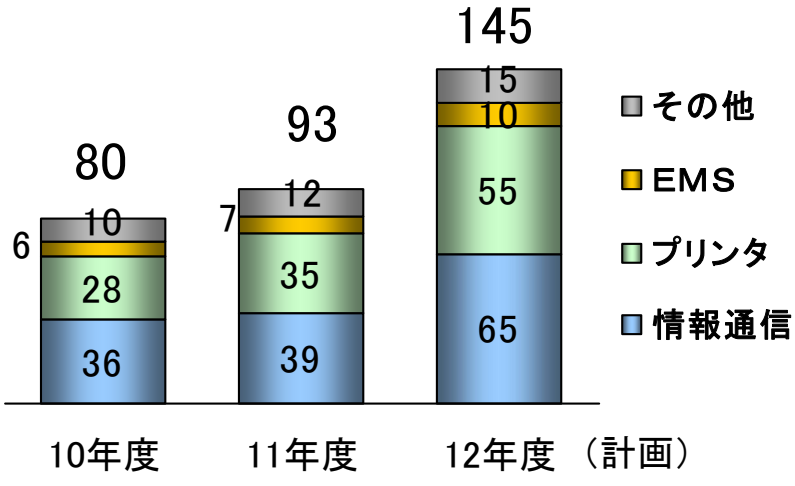
© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.

設備投資、研究開発投資の計画

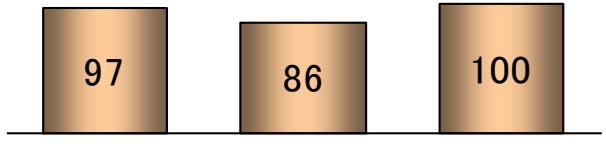
- 注力事業の事業展開に応じた投資を行い、競争力強化を図る

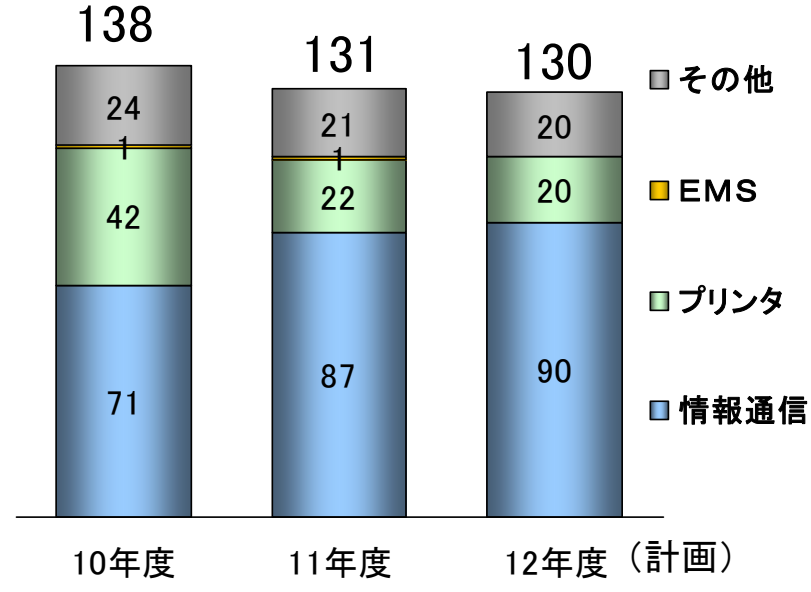
設備投資(有形固定資産) (単位:億円) **研究開発投資**

【投資額】



【減価償却費】





© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.



Open up your dreams

© Copyright 2012 Oki Electric Industry Co., Ltd.